

◆令和7年度 第2回 建設事業外部評価委員会 議事要録◆

1 日時 令和7年11月7日（金） 15:00～17:00

2 場所 神戸商工貿易センタービル 22階 第2研修室

3 出席者

○委員

大石哲委員、太田尚孝委員、織田澤利守委員、島田奈美委員

○事業所管課

建設局森林・防災部河川課、建設局公園部整備課、
都市局三宮再整備課、都市局未来都市推進課

○事務局

建設局技術管理課

4 議事

1) 審議資料修正に関する報告

○社会資本整備総合交付金事業 神戸市における浸水対策の推進（防災・安全）

【事後評価】

⇒修正無し

○民間活力を活用した都市公園の再整備（重点）【事後評価】

⇒特になし

○地域ニーズに即した都市公園ストックの再編【事後評価】

⇒特になし

○安全・安心や環境に配慮した公園整備等の推進【事後評価】

⇒特になし

○安全・安心で快適な公園づくり（防災・安全）【事後評価】

⇒特になし

○長寿命化計画に基づく公園施設の改築・更新（防災・安全）【事後評価】

⇒特になし

○国際競争拠点都市整備事業【再評価】

（委員）都市局と道路局のマニュアルで費用便益分析の手法が異なるのとことだが、評価期間以外の違いはあるのか。

（所管課）都市局のマニュアルでは、走行時間短縮便益の記載が無く、他項目を参考に算出しており、原単位を歩行者数としていた。一方、道路局の

マニュアルでは、原単位を台数としているところが異なっている。
(委員) 算出方法の違いについて理解した。

2) 意見書とりまとめ

【前文】

特に意見なし

【審議対象事業の内容と意見】

○社会資本整備総合交付金事業 神戸市における浸水対策の推進(防災・安全)

【事後評価】

(委員)「・・・伊川、櫛谷川において支川合流部の協議に時間を要した・・・」
の部分で、現時点で協議は完了しているという認識でよいか。

(所管課) そうである。

○民間活力を活用した都市公園の再整備(重点)【事後評価】

(委員)「駐車台数」と「駐車場台数」の2つの表現があるが、どちらが正か。

(所管課)「駐車台数」である。修正する。

(委員) 目標①②に対して、その後の書き方が、②①の順になっている。

(所管課) その後の書き方を①②の順に修正する。

○地域ニーズに即した都市公園ストックの再編【事後評価】

⇒特に無し。

○安全・安心や環境に配慮した公園整備等の推進【事後評価】

(委員) ①の目標は「以下」の文言があるが、②の目標ではそのような文言がないため、追加した方が分かりやすいのではないか。

(所管課) 具体的な文言については確認の上、追加する。

○安全・安心で快適な公園づくり(防災・安全)【事後評価】

⇒特に無し。

○長寿命化計画に基づく公園施設の改築・更新(防災・安全)【事後評価】

⇒特に無し。

○国際競争拠点都市整備事業【再評価】

(委員)「良好」を繰り返している部分があるため、「良質」や「質の高い」といった他の表現に変えた方がよいのではないか。

(所管課) 修正する。

【総括部】

(委員)「対応方針(案)」は、調書に記載の対応方針と理解すればよいか。

(所管課) そうである。なお、意見書が提出された後、神戸市 HP に「対応方針」を掲載予定である。

その他、本委員会全体について下記の意見があった。

- (委員) 事業を進める中、もしくは進めた後で、各事業課においては、この委員会の結果を踏まえたフィードバックをしっかりと行っていただくよう、お願いしたい。
- (委員) 費用便益分析をどのように考えていくのかは、神戸市だけではない課題と考える。費用便益分析の結果 1.0 を超えることにどれだけ重きを置くのかということについては、人口減少、物価高騰や人件費の高騰等社会情勢が目まぐるしく変わる中で、そこにどれだけこだわる必要があるのかは、検討が必要と思う。この委員会は、神戸をよりよくしていくための委員会と考えており、この委員会での議論や意見を踏まえて、事業を推進していただきたい。